



書評

[評者]

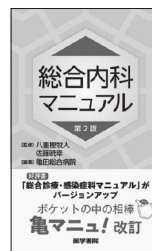
森川 暢

市立奈良病院・総合診療科

総合内科マニュアル 第2版

八重樫 牧人, 佐藤 暁幸 監修
亀田総合病院 編

●三五変型 頁520 2021年3月
定価: 3,080円 (本体2,800円+税)
[ISBN978-4-260-03658-0] 医学書院刊



ついに『総合内科マニュアル(亀マニユ)』が改訂された。実は、私は亀マニユのファンだ。医師3年目のときに総合診療の後期研修を始めたが、本当に右も左もわからなかった。多少は内科の知識をもっている自信があったが、それは粉々に打ち砕かれた。かといって、同期や先輩のようにUpToDate®を紐解き知識を増やすような甲斐性もなく、仕事にひたすら追われていた。

当時、私は常に2つのマニュアルをポケットに入れていた。1つは『診察エッセンシャルズ』という診断学に特化したマニュアルであった。しかし、内科マネジメントについても同様にマニュアルが必要であった。結果的に、私が選んだ相棒は亀マニユだった。ベットサイドで診療し、亀マニユを見ると日々をひたすら繰り返した。いつしか、亀マニユは自分の血肉となり携帯はしなくなった。ただ、その後の自分の内科マネジメントの原則や原理は亀マニユが基本となっていることに変わりはない。そして、今回の改訂である。

初版の亀マニユは、章によりエビデンスに基づいた記載にバラツキがあることが難点だった。しかし、今回の改訂では徹頭徹尾エビデンスに基づいた記載となっている。八重樫牧人先生の徹底的なチェックの賜物だろう。また亀マニユで大切にしていた内科マネジメントの原則は今回も踏襲されつつ、推奨グレードシステムによるエビデン

スの質も記載されており、よりパワーアップしている。ただの内科マニュアルと違い、老年医学、ソーシャルワークやヘルスマネジメント、救急や集中治療も網羅されているのは心憎い。特にソーシャルワークは今回新設された項目だが、総合診療医である私が読んでも知らない項目も多く、記載のレベルの高さに驚かされた。さらにこれだけパワーアップしたにもかかわらず、相変わらずコンパクトで読みやすいというメリットも引き継がれている。総合内科マニュアルの決定版であり、すべての初期研修医、内科専攻医、総合診療専攻医に推薦できる。もちろんベテランの医師の知識のブラッシュアップにも最適である。ぜひ、このマニュアルをポケットに忍ばせ、病棟、外来、救急と縦横無尽に走り回ってほしい。亀マニユは皆様のよい相棒になるだろう。

最後に、私が専攻医だったときに比べてスマートフォンが急速に普及しているのは事実である。しかし、ポケットマニュアルの価値は減ることはない。ポロポロになった初版の亀マニユを見返したが、隙間の至るところに当時の私が得たパールや知識が書き込まれている。若い先生はぜひ新しい亀マニユを読み込み、さらに得た知識を書き込むことで自分だけのマニュアルにしてほしい。亀マニユが血肉となると、自分の総合内科力が飛躍的に成長していることを実感できるだろう。